

矢向地域で新たな介護予防サービスがスタート。うしおだチャレンジ！



体力づくりの体操



管理栄養士さんのお話



ごはんづくりにチャレンジ

今月は地域での新しい取り組みをお伝えします。6月から、(株)ヒューメディカでは、要介護状態にならないための通所による介護予防サービス事業（うしおだチャレンジ）に取り組み始めました。この事業は、「横浜市介護予防・日常生活支援総合事業」といい、対象は矢向地域の65歳以上で主に要支援1、要支援2に該当する方。参加者は①自分で自分の健康管理をおこなえる自信をつけること。②新たな自分発見、生活のなかで小さなチャレンジが出来るようになること。を目標にプログラムに取り組まれています。

プログラム内容は①生活機能評価②外出に向けて体力づくり（リハの専門職による指導）③栄養を考えてご飯づくり（管理栄養士の指導）④創作活動に挑戦 そのみちの講師（朗読・折り紙等）で、これらを通じて、より上位の生活機能へ移行できるようにスタッフが支援をされているそうです。

担当の雨宮さんは、「矢向地域では今までも『SOSネットワーク』をはじめ、区役所・区社協、地域ケアプラザ、医療・介護事業、町内会、各種団体での連携が積み重ねられてきました。『健康で安心して住み続けられる街づくり』『地域の皆さんの支えあいの場』としてお役に立てればと思います。」と、お話しされていました。

実施場所 「よこはま健康友の会」会館（新鶴見薬局の2件となり）

実施期間 10月から12月 毎週水曜日 13:00～16:00(3時間)

期間：3ヶ月間（約12～13回）費用300～500円（内容により変更有り）

暮らしの相談支援者ネットワーク研修会

～えんがない人をどう支えるか～

7/24（火）暮らしの相談支援者ネットワークの研修会が行われました。

テーマは「お金がない、助けてくれる人もいない…」このような方に出会ったときに、どうするか？

明治学院大学 社会福祉学科 新保美香教授の講演とワークショップが行われ、支援者側に相談者に対する決めつけや自己責任論的な見方になっていないか、見えない部分に困りごとの背景があることなどを学び意見交換をおこないました。



メモリーカフェ



認知症にまつわる悩み、専門スタッフに相談できます

汐田総合病院 会場：ラウンジびゅあ（病院2階）

9月13日 10月11日（木）14:00-16:00

うしおだ診療所 会場：友の会汐田・向井町支部事務所

9月13日 10月11日（木）13:30-15:30 *8月は休み

健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点

健康格差の発生メカニズムとその対策の「5つの視点」について、理論的にしっかりと整理されており、とてもわかりやすい必携のテキスト。各地域の実際の事例を通じた取り組みの紹介は、実践したからこそその説得力を感じます。

医学書院 著者 近藤尚己



スタッフのひとこと

ワールドカップ、高校野球など、“あつい”夏を迎えている。“あつい”に関連して気候をいえば、7月には記録的な猛暑が続き、熱中症対策の特集が組まれているが、熱中症を原因に命を落とす方が後を絶たない。新規に生活保護を受給される方については、エアコンの設置が認められた。しかし、従前より保護を受けている方は認められていないようだ。役所の担当者などが訪問する時だけ、平然と見せるようエアコンを稼働させる高齢者の話も聞いた。SDHは何か？熱戦はスポーツだけで良い、日常生活には求めている。 (0)



うしおだ総合ケアセンター

We aim to build a non-discriminatory Integrated Community Care System that supports all